

文献

- 安達富美子 (2000) .日本人の死生観. 河野友信,平山正実編.臨床死生学辞典.日本評論社. 18-19.
- Allchin L. (2006) Caring for the dying: nursing student perspective. *Journal of Hospice and Palliative Nursing*, 8(2), 112-117.
- Allport,G.W.(1935).Attitudes.,In C.Murchison (ed.), A handbook of social psychology, Woraester. Mass.Clark University Press. 798-844.
- American Association of College Nursing (2008) .The Essentials of Baccalaureate Education for Professional Nursing Practice,[http:// www.aacn.nche.edu/education-resources/baccesentials08.pdf](http://www.aacn.nche.edu/education-resources/baccesentials08.pdf) [2014-1-30]
- Attig T. (1994) .Person-Centered Death Education. *Death Studies*,16,357-370.
- 荒木恵津子 (1983) .終末期看護における学生の認識調査－看護教育の手がかりを求めて－.看護,9,55-65.
- 荒木玲子,川島佳千子 (1994) .終末期の患者を受け持った看護学生の学習プロセスの分析と一考察.足利短期大学紀要, 15(1) ,35-44.
- 荒尾晴恵 (2005) .ターミナルケア期にある人の QOL. 鈴木津江,内布敦子編.成人看護学 緩和ターミナルケア看護論.ヌーヴェルヒロカワ. 84-88.
- Barrere C.C.,Durkin A.,LaCoursiere S.(2008).The Influence of End-of-Life Education on Attitudes of Nursing Students.*International Journal of Nursing Education Scholarship*,5(1),1-18.
- Beck T. C. (1997) .Nursing students' experience caring for dying patients.*Journal of Nursing Education*, 36(9), 408-415.
- Bradley E. H. (2000) .Attitudes about care at the end of life among clinicians –A quick, reliable, and valid assessment instrument -.*Journal of Palliative Care*,16(1),6-14.
- 茶園美香,岩瀬恵美 (2003) .終末期の看護実習における「死生観」の変化－実習レポートの内容分析－.慶應義塾看護短期大学紀要,13,63-71.
- Davis M. H. (1980) .A multidimensional approach to individual differences in empathy. *JSAS Catalog of Selected Documents in Psychology*,10,85.
- Davis M. H. (1983) .Measuring individual differences in empathy: Evidence for a multi-dimensional approach. *Journal of Personality and Social Psychology*, 44, 113-126.

文献

- Davis M. H. (1994) .共感の社会心理学. 菊池章夫訳 (1999) .川島書店.15-24 .
- Deeken A. (1986) .死を教える死への準備教育 第1巻.メヂカルフレンド社.2-3.
- Dickstein L.S. (1972).Death concern :Measurement and corrlates. Psychol Rep, 30,563-571.
- 江成ひとみ(2004).臨地実習における看護学生と患者との人間関係の深まりとその関係要因についての一考察.神奈川県立保健福祉センター看護教育研究集録,29,63-70.
- 遠藤千恵子,島内節,岡崎節子 (1971) .看護教育における患者の死に関する研究第1報－看護学生の死に対する考え方－.神奈川県立衛生短期大学紀要.4,7-17.
- Feningstein A., Scheier M. F., & Buss A. H. (1975) .Public and private Self-consciousness. Assessment and theory, Journal of Consulting and Cliniacl Psychology, 43,522-527.
- Feningstein A. (1984) . Self-consciousness and the overperception of self as a target. Journal of Personality and Social Psychology,47,860-870.
- Frommelt K. H. (1991).The effects of death education on nurses' attitudes toward caring for terminally ill persons and their families. American Journal of Hospice & Palliative Care, 8(5),37-43.
- Frommelt K. H. (2003).Attitudes toward care of the terminally ill –AN educational intervention-. American Journal of Hospice & Palliative Care, 20(1),13-19.
- 藤井美和 (2003) .大学生のもつ「死」のイメージ：テキストマイニングによる分析.関西学院大学社会学部紀要,95,145-154.
- 藤田育子,岩脇陽子 (1995) .看護学生の死に関する意識の経時的調査.京府医大医短紀要,5,159-83-88.
- 藤原宰江,池田公子,片山信子他 (1987) .看護学生の終末期看護に対する援助認識および援助行動傾向と MAS (顕在性不安尺度) との関係.看護展望,12(9),44-56.
- 藤原宰江,片山信子,掛橋千賀子 (1988a) .死をめぐる認識と教育への展望 (その1) –短期大学看護学生の態度とその解析–.岡山県立短期大学紀要,32(2),72- 80.
- 藤原宰江,片山信子,掛橋千賀子他 (1988b) .看護学生の終末期看護に対する援助認識および援助行動傾向と MAS (顕在性不安尺度) との関係.看護展望,12(9), 44-56.
- 藤腹朋子 (1991) .基礎看護教育課程におけるターミナルケア教育.ターミナルケア,8(1), 511-515.

文献

- 藤腹朋子(2001).患者・家族に何ができるか. 柏木哲夫,藤腹朋子編.系統看護学講座別巻 ターミナルケア 第3版. 医学書院. 75-86.
- 舟島なをみ(2010).看護教育学研究 発見・創造・証明の過程 第2版. 医学書院.38.
- 古屋洋子,小野興子,横山宏(2003).看護学生の死生観.山梨県立看護大学短期大学部紀要,9(1), 115-129.
- 二重作清子,薬師寺文子,横路洋子(2001).看護学生の終末期看護における教育方法の検討(その1)ー事例提示によるレポートの分析ー.広島県立保健福祉大学誌 人間と科学, 1(6),39-49.
- Gesser G., Wong P.T.P., Reker G. T. (1987).Death Attitudes across the Life-span: The development and validation of the death attitude profile(DAP) .Journal of Death and Dying,18,113-128.
- 箱井英寿,高木修(1987).援助規範意識の性別 年代および世代間の比較.社会心理学研究, 3(1),39-47.
- 箱井英寿(1990).共感性と援助規範意識との関連性についてー正準相関分析法を用いてー.大阪薫英女子短期大学研究報告,25,39-47.
- 濱口可奈子(2005).一般病棟におけるターミナルケア.鈴木志津枝,内布敦子編,成人看護学 緩和・ターミナルケア看護論.ヌーヴェルヒロカワ.21-24.
- 濱口恵子,小島操子,小松浩子他(1990).臨死患者の看護実習前後での学生の死生観の変化.第21回日本看護学会集録(看護教育), 123-126.
- 原田真澄,堀容子,高須美香他(2005).看護学生の死に対する態度に関連する要因ー死のイメージ、性格、死の経験との関連からー.日本看護医療学会雑誌,7(2),17-26.
- 長谷川真美,今川詢子,横山恵子他(2004).看護学生の悩みと援助規範意識に関する一考察.35回日本看護学会集録(看護教育),157-159.
- 波多野梗子,村田恵子(1981).看護学生の終末期看護に対する援助的認識と看護行動傾向の学年による差異.看護研究,14(1), 62-73.
- 林稚佳子,横田恵子,高間静子(2002).看護職者の関係維持スキルと個人の内的属性との関係.富山医科薬科大学看護学会誌,4(2),59-75.
- 林英代,藤田泰代,中島雛子他(1995).看護学生の死生観に関わる要因.第26回日本看護学会集録(看護教育),62-65.
- Henderson V. (1969).看護の基本となるもの 新装版. 湯楨ます,小玉香津子訳(2006).

文献

日本看護協会出版会.

日野原万記,井原恵津子,清野健太郎他(2003).柳澤厚生編.ナースのためのコーチング活用術.

平田ナツ子(1999).看護学生の死に関する認識調査ー基礎看護教育における死への準備ー.聖マリア学院紀要,14,105-108.

広井良典(2001).死生観を問いなおす.ちくま新書.009-018.

本間千代子,中川禮子(2001).終末期看護ケアの授業と看護学生の死の不安認知.日本赤十字武蔵野短期大学紀要,14,37-42.

堀井俊章(2001).青年期における自己意識と対人恐怖心性との関係.山形大学紀要(教育学),12(4),453-468.

星和美,藍原キミヨ(1994).看護学生の死のイメージ変化.第25回日本看護学会集録(看護教育),180-182.

Hurtig A. W.,Stewin L.(1990).The effect of death education and experience on nursing students' attitude towards death. Journal of Advanced Nursing, 15, 29-34.

猪股昌子(1999).看護学生と受け持ち患者の人間関係形成過程とその要因.第30回日本看護学会集録(看護教育),145-147.

犬童幹子(1993).遺言作成体験学習の効果ー終末期援助者としての態度育成ー.ターミナルケア,3(3),252-260.

犬童幹子(1995).看護学生の死に対する感情・態度及び他意味なるケア学習に関する調査.第26回日本看護学会集録(看護教育),59-61.

石田順子,石田和子,神田清子(2007).看護学生の死生観に関する研究.桐生短期大学紀要,18,109-115.

一色康子,河野政子(2000).看護学生と他分野学生の死のイメージに関する調査研究ー調査項目の所属間の比較による検討ー.看護学統合研究,2(1),57-61.

糸島陽子(2005).死生観形成に関する調査ー看護学生と大学生の比較ー.京都市立看護短期大学紀要,30,142-147.

岩瀬紫,森田達也,笹岡郷子(2002).終末期医療に携わる看護婦の患者ケアに対する満足度,死の臨床,25(1),70-77.

上瀬由美子(2001).自己への関心.堀洋道監修,山本真理子編.心理測定尺度I 人間の内面を探る(自己・個人内過程).サイエンス社.44-46.

文献

- 金田悦子 (2006) .看護学実習における学生の共感性変化からの考察.秋田県看護教育研究会誌,31,19-23.
- 金児曉嗣 (1994) .大学生とその両親の死の不安と死観,人文研究 大阪市立大学文学部紀要,46,1-28.
- 金児曉嗣,渡部美穂子 (2003) .宗教観と死への態度.大阪市立大学文学研究科紀要,54,85-109.
- 片山信子,掛橋千賀子 (1991) .死を巡る認識と教育への展望 (その3) -養成課程・養成校からみた看護学生の死と死に関わる認識と傾向-.岡山県立短期大学紀要,35, 166-177.
- 加藤隆勝,高木秀明 (1980) .青年期における情動的共感性の性質,筑波大学心理学研究,2, 33-42.
- 加藤隆 (2003) .認知モデル化.海保博之・加藤隆編.認知研究の技法.福村出版. 17-20
- 河合千恵子,下仲順子,中里克治 (1996) .老年期における死に対する態度.老年科学,17(2), 107-116.
- 川島恵子,小田正枝 (1985) .学生の看護観育成のための一考察 終末期患者看護を通して.看護展望, 10(9),930-935.
- 風岡たま代,伊藤ふみ子 (2008) .看護教育における看護学生の死生観に関する本邦過去 35 年間の研究の概観.横浜創英短期大学紀要,4,1-11.
- Kiger M. A. (1994) .Student nurses' involvement with death: the image and the experience. Journal of Advanced Nursing,20,679-686.
- 木村久美子,鈴木けい子 (1992) .臨死患者の看護体験にみる学生の人間的成長.看護教育, 33(13) ,1064-1068.
- 古賀万美子 (2000) .看護学生の死生観-死生観形成過程における看護学生の認識-.神奈川県立看護教育大学校看護教育研究集録,25,52-59.
- 国立社会保障人口問題研究所.日本の将来推計人口,<http://www.ipss.go.jp/> [2012-07-29]
- 小松浩子,小島操子,岩井郁子他 (1984) .臨死患者とその家族を援助する看護学生に対する実習指導に関する研究 (その1) -実習中の学生の心理的变化の過程-.第15回日本看護学会集録 (看護教育) ,251-254.
- 河野由美 (2001a) .インド・ネパール・日本の看護婦と看護学生の死観、来世信仰、死の不安についての比較文化的研究.ヒューマン・ケア研究,2,47-59.

文献

- 河野由美 (2001b) .精神的ケアとは. 柏木哲夫,藤腹明子編.系統看護学講座 別巻 10 ターミナルケア 第3版.医学書院.136-146
- 河野由美 (2004) .自己の死観と大切な他者の死観—死観モデルの検証—.ひょうご震災記念 21 世紀研究機構研究年報,10,75-83.
- 厚生省健康政策局看護課 (1989) .看護カリキュラム—21 世紀に期待される看護職者のために—.第一法規.
- 厚生労働省.人口動態調査. <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei11/index.html>[2011-4-14]
- 厚生労働省.終末期医療のあり方に関する懇談会報告書.<http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryu/zaitaku/dl/06.pdf> [2011-10-04]
- Krippendorff Klaus. (1980) .メッセージ分析の技法. 三上俊治,椎野信雄,橋本良明訳 (2002) .勁草書房.
- Kübler-Ross Elisabeth. (1969) .死ぬ瞬間—死にゆく人々との対話—. 川口正吉訳 (1971) .読売新聞社.
- Kübler-Ross Elisabeth. (1981) .死ぬ瞬間の子供たち. 川口正吉訳(1982).読売新聞社.
- 隈部知更 (2003) .DAP-R 日本語版の内容妥当性—死への態度と信仰の関係—.心理臨床学研究,20,601-607.
- 隈部知更 (2006) .日本人の死生観に関する心理学的基礎研究—死への態度に関係を及ぼす4 要因についての分析—.健康心理学研究, 19, 10-24.
- 黒田寿美恵,佐藤禮子 (2008) .終末期がん患者の選択する生き方とその本質.人間と科学 県立人島大学保健福祉学部誌,8(1),80-100.
- 前田和美 (1981) .患者の死後を看取る看護学生の反応と学び.久留米大学医学部付属看護専門学校研究紀要,1,27-31.
- 水谷成子 (1997) .死生観形成過程にある看護学生のコーピング行動の比較.看護展望,22(1), 76-81.
- Mooney C. D. (2005) .Tactical reframing to reduce death anxiety in undergraduate nursing students. American Journal of Hospice & Palliative Medicine, 22(6), 427-432.
- 森本明子,宮松直美 (2005) .大学4 年次における看護学生と一般女子学生の死生観に関する研究—死生観尺度・多次元自我同一性尺度による分析—.第36 回日本看護学会集録

文献

- (成人看護Ⅱ) ,297-299.
- 村田恵子,波多野梗子 (1983) .看護学生の死および瀕死の患者に対する態度と援助認識・行動傾向の発達の変化.看護教育,24(7),410-417.
- 村山功 (2005) .知識の獲得. 海保博之編.認知心理学 朝倉心理学講座 2.朝倉書店.77-92.
- 中井文子 (2010) .アメリカにおけるデス・エデュケーションの近年の動向—1986年から2000年代にかけての沈静化と分化の傾向について—.早稲田大学大学院教育研究科紀要,18,237-248.
- 中村真理子 (1990) .看護基礎教育における死への準備教育の意義—看護学生の死に対するイメージの変化から—.東海大学短期大学紀要,24,137-148.
- 中尾久子,花田妙子,大津キミ他 (1986) .終末期の患者の看護の段階的学習.看護教育,27(3),165-169.
- 新見明子 (2002) .看護学生の死生観—Purpose in Life Test 分析より—.川崎医療短期大学紀要,22,25-30.
- 西村由起子,佐伯輝子,北川多恵子他 (1983) .看護学生の死に対する認識について—学習段階別差異—.第14回日本看護学会集録(看護教育) ,287-291.
- 野村和子,森川安子 (1992) .死への意識調査—看護学生1・2年生の比較—.藍野学院紀要,6,39-48.
- Noppe,L.D.&Noppe,I.C(1991).Dialectical themes in adolescent conceptions of death. Journal of adolescent Research,6,28-42.
- Noppe,L.D.&Noppe,I.C. (1996) .Ambiguity in adolescent understandings of death. In Corr,C.A.&Balk,D.E.(Eds.),Handbook of adolescent death and bereavement,25-41.
- 落合清子,長井美佐子 (2004) .看護学生の「死のイメージの変化」—読書による死生観確立への関係について—.聖隷クリストファー大学看護短期大学部紀要 27,7-13.
- 岡林春雄 (1995) .認知心理学入門 その基礎理論と応用.金子書房.20-21.
- 岡田まり,片岡智子,吉岡多美子他 (2000) .看護学生の死のイメージに関する研究.三重看護学誌,3(1),53-59.
- 岡本双美子,石井京子 (2005) .看護師の死生観尺度作成と尺度に関係を及ぼす要因分析.日本看護研究学会雑誌,28(4),53-60.
- 奥出有香子 (2001) .看護学生の対象別実習前後における死に対する意識の変化.順天堂医療短期大学紀要,12,86-93.

文献

- 奥祥子,塚本康子,堀内宏美他 (2004) .看護学生の死についての態度構造.鹿児島大学医学部保健学科紀要,14,13-19.
- 大塚美樹,雑賀倫子,吉岡伸一 (2011) .臨地看護学実習前後における看護学生の社会的スキルと共感性の関連.米子医誌,62,183-188.
- 大内晶子 (2011) .共感性・他者意識 (ゆるし) .堀洋道監修.吉田富二雄,宮本聡介編.心理測定尺度集V.サイエンス社. 120-122
- 大山由紀子,沖野良枝 (2003) .看護職と看護学生の死生観の傾向に関する比較研究.第34回日本看護学会集録集 (看護総合) ,75-77.
- 大山七穂 (1990) .価値と規範.大坊郁夫,安藤清志,池田謙一編.社会心理学パースペクティブ 3.誠信書房.237-262.
- 長田京子 (2002) .臨床実習における看護学生の死生観の変化—実習中に患者の死に出会った学生を中心として—.臨床死生学,7,33-39.
- 小塩真司 (2012) .SPSS と Amos による心理・調査データ解析 因子分析・共分散構造分析まで. 第2版.東京図書.211.
- 押見輝男 (1992) .自分を見つめる自分—自己フォーカスの社会心理学—.サイエンス社. 42-48,70-92,95-106.
- 佐々木和子,藤井博英,佐々木昌子他 (1988) .生と死に対する基本的態度と死生観確立へのモチベーション— 質問紙調査と学内演習を通して —.第19回日本看護学会集録 (看護教育) ,221-223.
- 世界開発指標.[http://www.google.com/publicdata/explore?ds=d5bncppjof8f9_/\[2011-10-04\]](http://www.google.com/publicdata/explore?ds=d5bncppjof8f9_/[2011-10-04])
- 芹沢俊介 (2003) .経験としての死 死の講義 I .雲母書房.159-164.
- 柴田和恵,高橋ゆかり,鹿村真理子 (2007) .看護学生の援助規範意識と職業的アイデンティティとの関連—臨地実習前後の比較—.天使大学紀要,7,85-92.
- 柴田和恵,高橋ゆかり,鹿村真理子 (2008) .看護学生の援助規範意識と職業的アイデンティティとの関連—1年生入学時と3年生の比較—.第39回日本看護学会集録集 (看護総合) ,78-80.
- 志田久美子,山本澄子,渡邊岸子 (2007) .看護基礎教育における「死の準備教育」についての検討—日本における過去10年間の文献研究—.新潟大学医学部保健学科紀要,8(3), 133-141.

文献

- 鹿村真理子 (2005) .看護学生の死のイメージと「あの世」観.第 36 回日本看護学会集録(看護教育) , 99-101.
- 鹿村真理子 (2008) .看護学生の死に対する感情とイメージに関する文献レビュー.ヘルスサイエンス研究,14(1), 3-13 .
- 鹿村真理子(2010a) .看護学生の「死に対する態度」と関係要因.ヘルスサイエンス研究,14(1), 27-34.
- 鹿村真理子 (2010b) .看護学生の死に関する経験とイメージとの関連.ヘルスサイエンス研究,14(1), 103-108.
- 鹿村真理子 (2011a) .看護学生の死に逝く患者の看護ケアにおける文献レビュー.和歌山県立医科大学保健看護学会誌,2,21-27.
- 鹿村真理子 (2011b) .看護学生の「死の認知」の構造.ヘルスサイエンス研究,13(1).23-32.
- 寫田理佳,片山信子,掛橋千賀子 (2001) .看護学生の終末期看護実習における VTR 視聴とディスカッションによる学習効果.京府医大医短紀要,11, 85-90.
- 島蘭進 (2008) .死生学とは何か 日本での形成過程を顧みて. 島蘭進,竹内整一編.死生学 [1] 死生学とは何か.東京大学出版会.9-29.
- 清水哲郎 (2010) .死生の理解をケア活動に生かす. 清水哲郎,島蘭進編.臨床死生学のエッセンス ケア従事者のための死生学.ヌーヴェルヒロカワ.38-63.
- 新村拓 (1999) .死を看取る.新谷尚紀編.講座 人間と環境 第 9 卷 死後の環境—他界への準備と墓—.昭和堂.30-52.
- 鱸伸子,柳澤厚生 (2010) .ナースのためのセルフコーチング.医学書院.
- 曾根綾子,Deeken Alfons (1984) .生と死を考える.春秋社.189.
- 園田麻利子,上原充世 (2009) .終末期看護における基礎教育に関する文献的考察.鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要,13,28-42.
- Spilka B.,Stout L.,& Sizemore D (1977) .Death and personal faith: A psychometric investigation. Journal for the Scientific Study of Religion,16,169-178.
- 菅原健介 (1984) .自意識尺度 (self-consciousness scale) 日本語版の試み.心理学研究,55, 184-188.
- 砂賀道子,鈴木はるみ,佐藤幸子他 (2005) .短期大学看護学生における死に対する態度.桐生短期大学紀要,16,43-48.
- 鈴木由美,藤生英行,田上不二夫 (1999) .女子大学生の友人数におよぼす自己効力と性格特

文献

- 性（社会的内向性・思考的内向性）の関係について.和洋女子大学紀要・文系編,39, 129-139.
- 鈴木有美,木野和代,出口智子他（2000）.多次元共感性尺度作成の試み.名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要.心理発達科学,47, 269-279.
- 鈴木有美,木野和代（2008）.多次元共感性尺度（MES）の作成－自己志向・他者志向の弁別に焦点を当てて－.教育心理学研究,56,487-497.
- 高橋ゆかり,高山千波,桐山勝枝（2009）.精神看護学実習における看護学生のコミュニケーション技術と共感性との関連.第40回日本看護学会集録（精神看護）,63-65.
- 高山良子,鈴木志津枝（2005）.ターミナル期にある人の死にゆくことに対する態度.鈴木志津枝,内布敦子編.成人看護学 緩和・ターミナルケア看護論.ヌーヴェルヒロカワ, 65-72
- 竹下美恵子,魚住郁子,渡辺弥生他（2001）.看護学生の死生観に関する研究 第3報－領域別臨地実習前後の比較－.第32回日本看護学会集録（看護総合）,76-78.
- 竹内裕美（1997）.学生のコミュニケーションに対する意識と自己開放性および自己意識特性との関連.日本看護研究学会雑誌,20(3),225.
- 滝沢美恵子（1982）.死に対する看護教育.九州大学医療技術短期大学部紀要,9,35-40.
- 滝沢美恵子（1986）.臨死患者に対する看護教育.九州大学医療技術短期大学部紀要,13,31-44.
- 瀧澤直子,吉野由美子（2010）.精神看護学実習における看護学生の共感経験に関する研究－共感性が学びに及ぼす関係の検討－.東海大学医療技術短期大学総合看護研究施設論文集,19,21-28.
- 玉川緑（2005）.終末期患者との関わりにおける看護学生の死生観形成過程.第36回日本看護学会集録（看護総合）,511-513.
- 田中愛子,岩本晋（1998）.看護学生の死生観のとらえかたとその実態－学生の作成した質問紙を中心に－.山口県立看護学部紀要,2,31-47.
- 丹下智香子（1995）.死生観の展開.名古屋大学教育学部紀要 教育心理学科, 42,154-155.
- 丹下智香子（2002）.「死」からの連想語のKJ法による分類－死生観の構造の検討－.名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要教育心理発達科学,49,157-168.
- 丹下幸子,金子昌子,細矢智子（2000）.終末期看護実習における看取りの体験－実習記録及び感想文の分析をとおして－.第31回日本看護学会集録（看護教育）,206-207.

文献

- Templer D. L. (1970) .The construction and Validation of a death anxiety scale. J General Psychol Rep,82,165-177.
- 土屋八千代 (1991) .ターミナル・ケアに関わる学生の心理的变化に関する研究－死を見送ることの大切さ－.看護教育,32(13),846-851.
- 土屋八千代 (1992) .ターミナル・ケアにおける看護学生の意識とケアの方向.看護教育, 33(13), 1038-1043.
- 辻平治郎 (1993) .自己意識と他者意識.北大路書房.
- 辻川真弓,澤井美穂,野村祐子他 (2002) .ホスピス実習の教育効果に関する研究－実習前後での「死」に対するイメージ変化を指標として－.がん看護,7(3),252-267.
- 月田佳寿美,池田歩未,藤井和代 (2006) .看護学生の死生観に係る要因と脳死の捉え方.福井大学医学部誌, 7(1,2),7-13.
- 内野幸子,原田美佐 (1995) .学生の死生意識から看護教育を考える－短期大学看護学科学生の意識調査より－.看護展望,20(10),1168-1173.
- 内海文子,松本幸子,片穂野邦子他 (2006) .ホスピス病棟見学における看護学生の学習内容－実習記録の内容分析から－.県立シーボルト大学看護栄養学部紀要,7,45-52.
- 宇都宮輝夫 (2010) .わずかばかりの勇氣持て、死を迎えるを得ば－受容と絶望のはざままで死の道を求めて－.清水哲郎,島蘭進編.ケア従事者のための死生学.ヌーヴェルヒロカワ.286-299.
- 渡辺美千代 (1997) .看護学生における死生観の形成過程を考察する－3年間の過程を経て.ターミナルケア, 17(6),470-476.
- Wallace M. ,Grossman S. &Campbell S. (2009) .Integration of End-of- Life Care Content in Undergraduate Nursing Curricula－Student Knowledge and Perceptions－.Journal of Professional Nursing,25(1),50-56.
- Wass H. (2004) .A Perspective on the Current State of Death Education. Death Studies ,28,289-303.
- Wong P. T. P., Reker G. T. &Gesser G. (1994) .Death Attitudes profile-revised : A multi-dimensional measure of attitudes toward death, In R. A. Neimeyer (Ed.), Death anxiety handbook .Research instrumentation and application (pp.121-148). Bristol : Taylor and Francis.
- 八木成和 (2008) .青年期の対人関係に関する研究 (Ⅲ)－対人不安と社会的外向性・独

文献

立性との関連について一.四天王寺国際仏教大学紀要,45,241-251.

やまだようこ (2007) . やまだようこ著作集第8巻 喪失の語りー生成のライフヒストリ
ー.新曜社.79-84.